

はじめに

本県の商業を取り巻く状況は、少子高齢化が進み、インターネットショッピングが普及するなど、大きく変化しており、県北西部や木更津エリアへ大型ショッピングモールが進出する一方で、鉄道駅周辺の百貨店が撤退した地域もあります。

また、商業環境の変化に合わせ、消費者の購買行動も、多種多様な商品を求めて、様々な店舗・購買手段を選び分けるように複雑化しています。

こうした消費者の購買行動の実態を明らかにし、それにより形成される県内商圈の変化を明らかにするため、本県では昭和43年以降、消費者が買い物をする場所、利用する店舗とその理由など、消費者の購買動向調査を実施してきており、この度、平成30年度の調査結果を取りまとめました。今回の調査では、それに加えて、消費者の商店街に対する認識や、県外の近隣市区町村に住む消費者の購買行動についても調査しています。

本報告書が今後の地域商業活性化の基礎資料として、各種行政施策はもとより、商業者、商工団体及び関係機関において幅広く御活用いただけることを期待しております。

終わりに、この調査の実施にあたり、格別の御理解、御協力をいただきました関係の皆様に対し、厚くお礼申し上げます。

平成31年3月

千葉県商工労働部長 吉田 和彦

